

2017年8月3日

大阪・東京など大都市ほど“落雷”に恐怖、「ウェザーニューズタッチ」利用者1万人による意識調査

ゲリラ雷雨による命の危機、6人に1人が経験

～局地的かつ突発的な激しい雨や落雷に対する事前の備え、7割強が“できていない”～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、『ゲリラ雷雨意識調査』の結果を本日発表しました。本調査は、7月22日～7月26日にスマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を通じて、「過去5年でゲリラ雷雨に遭遇して命の危機を感じた事があるか」など7つの質問を行い、全国9,602人から回答をいただきました。調査の結果、6人に1人がゲリラ雷雨で命の危機を感じた経験があり、特に九州・関東北部で回数が多い傾向となりました。また、大阪府や東京都など大都市ほど“落雷”に対する恐怖心が強いことがわかりました。ただ、ゲリラ雷雨への事前の備えは、7割強が“できていない”と回答しており、今後、被害の増加が心配されます。ウェザーニューズはゲリラ雷雨による命の危機を少しでも減らすため、本調査結果を今後の対策に活かしていきます。

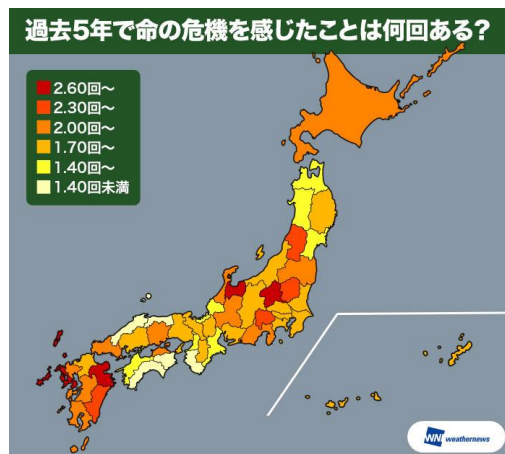
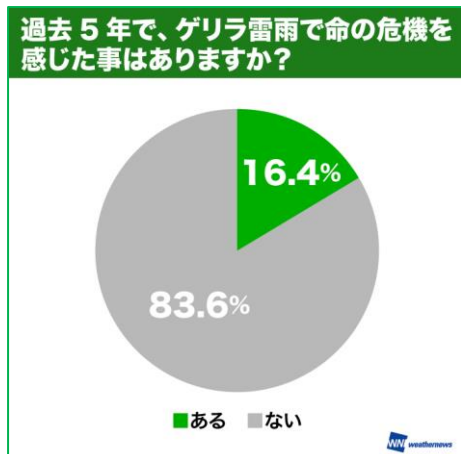
本プレスリリースの素材のダウンロード	『ゲリラ雷雨意識調査』の結果はこちら	「ゲリラ雷雨アラーム」の登録はこちら
ウェブ版プレスリリース 『ゲリラ雷雨意識調査』 https://jp.weathernews.com/news/17446/	ウェザーニューズウェブサイト 『ゲリラ雷雨意識調査』 https://weathernews.jp/s/topics/201708/030085/	スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を ダウンロード後「ゲリラ雷雨 Ch.」にアクセス

✓ポイント

- ① ゲリラ雷雨で命の危機、6人に1人が経験／危機回数は九州・関東北部が上位
- ② 6割強は“落雷”が怖い、上位10位には大阪府や東京都など近畿圏・首都圏がランクイン
- ③ 高知県民は4人に1人がゲリラ雷雨被害による出費の経験あり、5万円以上との声も
- ④ 7割強がゲリラ雷雨への備えができていない中、関東の備えは全国平均以上

① ゲリラ雷雨で命の危機、6人に1人が経験 ～長崎県が最も危機回数多く過去5年で平均3回～

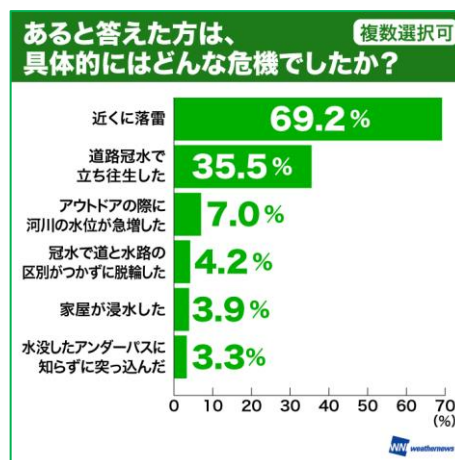
「過去5年でゲリラ雷雨によって命の危機を感じた事がありますか？」との質問に対して、“ある”、“ない”の2項目から回答いただきました。その結果、“ある”が全国平均で16.4%と、6人に1人にのぼりました。都道府県別でみると、上位10位に栃木県(25.9%)や群馬県(20.4%)、京都府(20.6%)、滋賀県(20.0%)など、ゲリラ雷雨の発生が多い府県がランクインしました。



また、“ある”と回答した人に、「過去 5 年で(ゲリラ雷雨によって)命の危機を感じた事は何回ありましたか？」と質問し、“1~10 回”の中で回答いただきました。その結果、全国平均は 1.89 回で、都道府県別では長崎県の 3 回が最も多くなりました。また、上位 10 位中、九州が半数を占め、群馬県や栃木県もランクインしました。九州は暖かく湿った空気が入りやすく、関東北部は内陸の気温上昇により雷雲が発生しやすいという地域特性がそれぞれあり、これらの影響で他エリアに比べて命の危機を感じた回数が多いと考えられます。

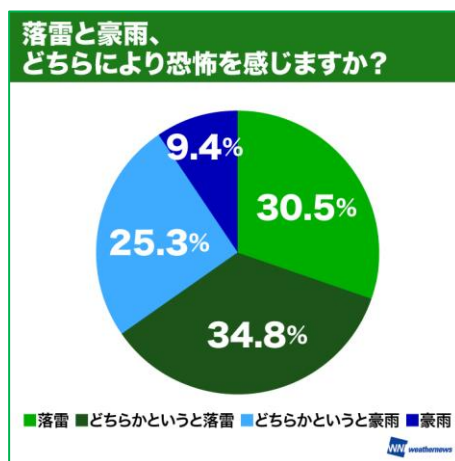
過去 5 年で、ゲリラ雷雨により命の危機を感じた回数					
順位(位)	都道府県	回数(回)	順位(位)	都道府県	回数(回)
1	長崎県	3.00	6	宮崎県	2.40
2	富山県	2.82	7	山梨県	2.33
3	大分県	2.67	8	栃木県	2.32
4	群馬県	2.65	9	鹿児島県	2.29
5	山形県	2.44	10	熊本県	2.28

さらに、過去 5 年でゲリラ雷雨によって命の危機を感じた事が“ある”と回答した人に、「具体的にはどんな危機でしたか？」と質問し、“近くに落雷”、“道路冠水で立ち往生した”、“水没したアンダーパスに知らずに突っ込んだ”、“家屋が浸水した”、“冠水で道と水路の区別がつかずに脱輪した”、“アウトドアの際に河川の水位が急増した”、“そのほか”の 7 項目から回答いただきました(複数選択可)。その結果、“近くに落雷”が 69.2%、次いで“道路冠水で立ち往生した”が 35.5%となり、落雷によって命の危機を感じる人が多いことがわかりました。



② 6 割強は“落雷”が怖い、上位 10 位には大阪府や東京都など近畿圏・首都圏がランクイン

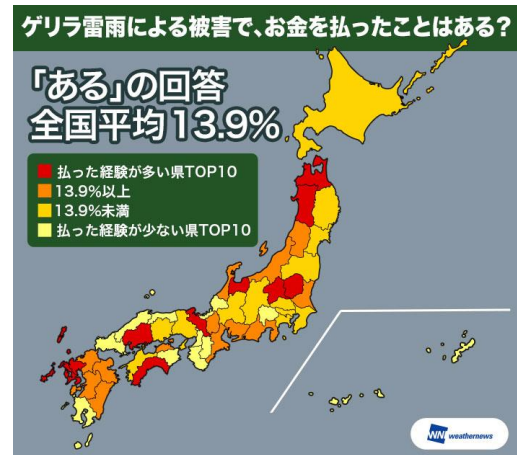
「落雷と豪雨、どちらにより恐怖を感じますか？」と質問し、“落雷”、“どちらかという落雷”、“どちらかという豪雨”、“豪雨”の 4 項目から回答いただきました。その結果、“落雷”、“どちらかという落雷”の合計が 6 割強になりました。都道府県ごとに見ると、“落雷”と“どちらかという落雷”の合計が最も多かったのは、大阪府(73.4%)で、次いで埼玉県(70.9%)、群馬県(70.8%)、兵庫県(69.6%)、東京都(69.6%)と、近畿圏・首都圏が上位を占める結果となりました。また、“豪雨”と“どちらかという豪雨”の合計が最も多かったのは、島根県(54.8%)で、次いで山口県(52.3%)、広島県(49.4%)、徳島県(47.1%)、長野県(46.1%)となりました。近畿圏・首都圏など大都市では、道路冠水は起きやすいものの、大規模災害は起きづらい地域特性があるため、豪雨よりも落雷に恐怖を感じる人が多いと考えられます。また、落雷による交通機関への影響など、生活への直接的な影響が出やすいことも要因のひとつであると考えられます。一方、平地の少ない県は、水害や土砂災害が発生すると、大規模になりやすいため、豪雨に恐怖を感じる人が多いと考えられます。



“落雷”、“どちらかというと落雷”の合計			“豪雨”、“どちらかというと豪雨”の合計		
順位(位)	都道府県	割合(%)	順位(位)	都道府県	割合(%)
1	大阪府	73.4	1	島根県	54.8
2	埼玉県	70.9	2	山口県	52.3
3	群馬県	70.8	3	広島県	49.4
4	兵庫県	69.6	4	徳島県	47.1
5	東京都	69.6	5	長野県	46.1

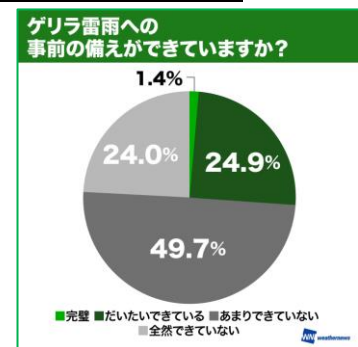
③ 高知県民は 4 人に 1 人がゲリラ雷雨被害による出費の経験あり、5 万円以上との声も

「これまでゲリラ雷雨による被害により、払ったことのある金額は？」と質問したところ、払ったことがある割合は、全国平均で 13.9%となり、最も多かったのは高知県(24.3%)でした。上位 10 位には、群馬県(22.7%)や栃木県(22.4%)、長崎県(21.7%)がランクインしており、「過去 5 年で(ゲリラ雷雨によって)命の危機を感じた事は何回ありましたか？」の質問で上位に入った県と一致しています。また、詳細の金額について 4 つ(“1 万円未満”、“1~5 万円未満”、“5~10 万円未満”、“10 万円以上”)から選んでもらったところ、“5 万円以上”支払ったことがあるとの回答が 1 番多かったのも高知県で、13.5%でした。高知県は、湿った空気が入りやすく雷雲が発生しやすい地域特性があり、それによる影響と考えられます。



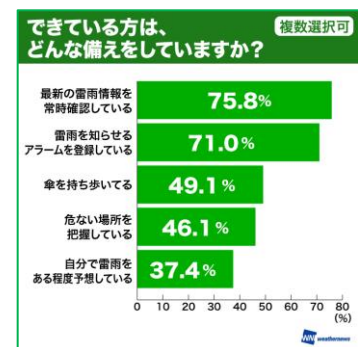
④ 全体の 7 割強がゲリラ雷雨への備えができていない中、関東の備えは全国平均以上に

「ゲリラ雷雨への事前の備えができていますか？」と質問したところ、“完璧”と“だいたいできている”の合計が全国平均で 26.3%となりました。特に、関東の 1 都 4 県(茨城県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県)や京都府、大阪府など、首都圏・近畿圏で全国平均を上回る備え率となっています。しかしながら、全体の 7 割強がゲリラ雷雨への備えができていないという現状です。



◆命の危機を未然に防ぐ「ゲリラ雷雨アラーム」

「ゲリラ雷雨への事前の備えができていますか？」という質問に対して“完璧”または“だいたいできている”と回答した方に、「どんな備えをしていますか？」と質問したところ、7 割強が最新の雷雨情報を常時確認していたり、雷雨を知らせるアラームを登録していることがわかりました(複数選択可)。



8~9 月は、朝は雲ひとつない晴天でも、気温の上昇によりモクモクと雲が急発達し、雷を伴った激しい雨となることがあります。局地的かつ突発的に発生することから事前予測が困難とされているゲリラ雷雨に対し、ウェザーニューズでは毎日全国から届く 2~3 万通もの雲のリポートを解析することで、ゲリラ雷雨が発生する 30

分前までに「ゲリラ雷雨アラーム」を送信しています。8月には海水浴や花火大会、山のレジャーなど、外で遊ぶ機会が増える季節です。「ゲリラ雷雨アラーム」はスマートフォンアプリ「ウェザーニュースタッチ」の「ゲリラ雷雨 Ch.」からご登録いただけますので、ぜひ今のうちに登録して、被害の軽減にお役立てください。



◆参考資料:『ゲリラ雷雨意識調査』都道府県別ランキング

過去5年で、ゲリラ雷雨により 命の危機を感じた割合			過去5年で、ゲリラ雷雨により命の危機を感じた回数		
順位(位)	都道府県	割合(%)	順位(位)	都道府県	回数(回)
1	栃木県	25.9	1	長崎県	3.00
2	島根県	23.8	2	富山県	2.82
3	大分県	22.6	3	大分県	2.67
4	香川県	21.3	4	群馬県	2.65
5	石川県	20.8	5	山形県	2.44
6	京都府	20.6	6	宮崎県	2.40
7	群馬県	20.4	7	山梨県	2.33
8	滋賀県	20.0	8	栃木県	2.32
8	山口県	20.0	9	鹿児島県	2.29
10	三重県	19.9	10	熊本県	2.28
11	富山県	19.6	11	香川県	2.20
11	広島県	19.6	12	福島県	2.19
13	岡山県	19.2	13	佐賀県	2.11
14	熊本県	19.1	14	石川県	2.10
15	埼玉県	18.8	15	山口県	2.08
16	福島県	18.2	16	静岡県	2.04
17	新潟県	18.2	17	岡山県	2.04
18	秋田県	17.7	18	岐阜県	2.03
19	岐阜県	17.6	19	北海道	2.00
20	福岡県	17.3	20	福岡県	1.95
21	静岡県	17.2	21	神奈川県	1.95
22	山形県	17.0	22	新潟県	1.94
22	佐賀県	17.0	23	埼玉県	1.93
24	宮城県	17.0	24	広島県	1.91
25	兵庫県	16.7	25	千葉県	1.88
26	愛知県	16.5	26	沖縄県	1.86
27	東京都	16.2	27	滋賀県	1.83
28	大阪府	16.2	28	京都府	1.82
29	沖縄県	15.9	29	奈良県	1.81
30	北海道	15.3	30	茨城県	1.80

31	茨城県	15.2	31	兵庫県	1.80
32	長野県	15.2	32	長野県	1.79
33	岩手県	14.7	33	愛知県	1.79
34	千葉県	14.0	34	東京都	1.73
35	奈良県	13.9	35	岩手県	1.73
36	鹿児島	13.7	36	愛媛県	1.67
37	福井県	13.2	37	大阪府	1.62
38	神奈川県	13.1	38	秋田県	1.55
39	長崎県	13.0	39	三重県	1.53
40	宮崎県	11.3	40	青森県	1.50
41	山梨県	10.9	41	宮城県	1.45
42	徳島県	8.8	42	福井県	1.40
43	青森県	8.7	43	和歌山県	1.33
44	和歌山県	5.7	43	徳島県	1.33
45	高知県	5.4	45	島根県	1.10
46	愛媛県	4.2	46	高知県	1.00
47	鳥取県	0.0	47	鳥取県	0.00
全国平均		16.4	全国平均		1.89

豪雨より落雷に恐怖を感じている割合 （“落雷”と“どちらかというと落雷”の合計）			ゲリラ雷雨による被害により 支払いが発生したことがある割合			ゲリラ雷雨への事前の備えが できている割合		
順位(位)	都道府県	割合(%)	順位(位)	都道府県	割合(%)	順位(位)	都道府県	割合(%)
1	大阪府	73.4	1	高知県	24.3	1	熊本県	38.3
2	埼玉県	70.9	2	青森県	23.9	2	栃木県	35.9
3	群馬県	70.8	3	群馬県	22.7	3	宮崎県	34.0
4	兵庫県	69.6	4	栃木県	22.4	4	島根県	33.3
5	東京都	69.6	5	長崎県	21.7	5	東京都	29.8
6	神奈川県	69.4	6	佐賀県	18.9	6	京都府	29.6
7	香川県	68.1	7	京都府	18.5	7	神奈川県	29.5
8	佐賀県	67.9	8	富山県	17.9	8	石川県	29.2
9	千葉県	67.6	8	広島県	17.9	9	埼玉県	28.5
10	高知県	67.6	10	秋田県	17.7	10	山形県	28.3
11	山形県	66.0	11	宮崎県	17.0	11	茨城県	28.1
11	和歌山県	66.0	12	滋賀県	15.8	12	静岡県	27.2
13	岩手県	65.3	13	茨城県	15.2	13	高知県	27.0
14	長崎県	65.2	14	山形県	15.1	14	岐阜県	26.7
15	茨城県	65.2	14	大分県	15.1	15	岩手県	26.7
16	滋賀県	65.0	16	香川県	14.9	16	徳島県	26.5
17	岐阜県	64.8	16	熊本県	14.9	17	大阪府	26.4
18	新潟県	64.6	18	石川県	14.6	18	大分県	26.4
19	宮崎県	64.2	19	三重県	14.6	19	福岡県	26.0
20	愛知県	63.5	20	愛知県	14.4	20	秋田県	25.8
21	栃木県	62.9	21	福岡県	14.2	21	兵庫県	25.8
22	奈良県	62.6	22	新潟県	14.1	22	鹿児島県	25.5
23	福島県	62.2	23	静岡県	14.0	23	三重県	25.2
24	鳥取県	62.1	24	東京都	13.7	24	愛知県	25.0
25	静岡県	62.0	25	長野県	13.6	25	宮城県	24.6
26	山梨県	61.8	26	千葉県	13.6	26	千葉県	24.4

27	愛媛県	61.1	27	埼玉県	13.2	27	奈良県	24.3
28	富山県	60.7	28	北海道	12.9	28	群馬県	23.6
29	福井県	60.5	29	兵庫県	12.9	29	沖縄県	22.7
30	三重県	60.3	30	岐阜県	12.5	30	広島県	22.6
31	北海道	59.8	30	愛媛県	12.5	31	福島県	22.3
32	秋田県	59.7	32	岡山県	12.3	32	新潟県	22.2
33	宮城県	59.1	33	宮城県	12.3	33	滋賀県	20.8
34	鹿児島県	58.8	34	福島県	12.2	34	佐賀県	20.8
35	京都府	58.2	35	神奈川県	12.0	35	山梨県	20.0
36	福岡県	57.1	36	岩手県	12.0	35	岡山県	20.0
37	大分県	56.6	37	徳島県	11.8	37	富山県	19.6
38	青森県	56.5	37	鹿児島県	11.8	38	北海道	19.6
39	岡山県	55.4	39	大阪府	11.6	39	青森県	19.6
40	沖縄県	54.5	40	山梨県	10.9	40	愛媛県	19.4
41	熊本県	54.3	41	福井県	10.5	41	香川県	19.1
42	石川県	54.2	42	奈良県	9.6	42	山口県	18.5
43	長野県	53.9	43	山口県	9.2	43	長野県	16.8
44	徳島県	52.9	44	沖縄県	9.1	44	福井県	15.8
45	広島県	50.6	45	島根県	7.1	45	長崎県	15.2
46	山口県	47.7	46	和歌山県	1.9	46	和歌山県	11.3
47	島根県	45.2	47	鳥取県	0.0	47	鳥取県	10.3
全国平均		65.3	全国平均		13.9	全国平均		26.3

※割合は小数第2位、回数は小数第3位を四捨五入して順位付けを行っています。